

人生を変える3つの御言葉（新約聖書：第一テサロニケ5章16～18節）

<https://www.youtube.com/watch?v=2slqBJwttRw>

さて、神の御言葉を見て行きましょう。1テサロニケ5章16節から18節になります。私たちは先週、15節までやり遂げました。まだ開いていない方がいれば、この箇所を開いてください。そして、もし可能ならば、お立ち下さい。難しければ大丈夫です。座ったままで大丈夫です。私が読むのについて読んでください。私たちは3節だけ読みます。基本的には1文ですが、3節です。16節、聖霊によって、パウロがこう書いています。

「いつも喜んでいなさい。」 「絶えず祈りなさい。」 「すべてのことにおいて感謝しなさい。」 「これがキリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」（1テサロニケ5：16-18）

これは、このままでかなり明白ですよ？ 祈りで締めくくべきでしょうか？ 祈りで始めるのはどうでしょうか？ 私と一緒に祈りませんか？

主よ、ありがとうございます。主よ、あなたの御言葉に感謝します。そして、私たちが今朝、あなたの御言葉の中で私たちの前に置かれているこの箇所を感謝します。主よ、あなただけがおできになり、あなたがいつも忠実にしてくださるように、私たちの心を静めて下さい。私たちの思いを静かにしてください。聖霊によって、私たちが細心の注意を向けられるようにして下さい。あなたが私たちの人生に語り、私たちに働きかけることが出来るように。主よ、私たちの気をそらすものを遠ざけて下さい。なぜなら、私たちはあなたが私たちのために用意しているものを、見逃したくないからです。私たちはこれを求めます。イエスの御名によって、アーメン。アーメン。

どうぞお座りください。ありがとうございます。今日の説教で選んだ題名は、「人生を変える3節」皆さん気に入りましたか？ 親切で賛同してくれてますね。これって決まり文句ですよ？ 「人生を変える聖句」「牧師さん、本当に？」 「それが、あなたが思いつくことができる一番のもですか？」 ーはい。私はそれがやや決まり文句に聞こえることは分かっていますが、しかし真実は、この3節は、もし応用するなら、私たちの人生を力強く変えることができます。本当に、強烈に。私はそれをさらに一歩進め、こう言います。この3節は、私たちの人生の生き方を変えることができるだけでなく、これは、キリスト・イエスにおける私たちの人生のための神の御心です。あなたは神の御心が何であるかを知りたいですか？ 私が牧師として最も頻りに尋ねられる質問の一つは、「牧師さん。私の人生において神の御心が何であるか、どうすれば分かりますか？」 ああ、ここですよ。1テサロニケ5章16-18章。

この3節、これが神の御心です。私たちがいつも喜ぶこと、絶えず祈り、そして、いつも感謝することです。それが、私が今日話したいことです。この3つの人生を変える節は、「精神生活のための原則」と呼ばれています。キリスト教教会の服務規程です。そして、私のお気に入り、 「より高次のレベルにおけるキリスト教体験のダイヤモンドの雫」です。(訳注：Expositor'sGreekTestament注解書) たった3節の中に、いっぱい詰まれているのです。なので、皆さんが優しく私を甘やかしてくれるなら、私がしたいこととは、この3つの節を見ることであり、そうする上で、聖霊に、この3節を通して私たちの人生に起こりうる強烈な変化についての真理を教えていただくことです。

一つ目、16節から始めましょう。私は理由があって、このように言うことを選びました。「絶え間なく喜ぶ」絶え間なく喜ぶ、弱まることのない喜び。テサロニケのクリスチャンが大きな苦しみを抱えていたことを理解するのは重要です。絶え間ない迫害の圧力の下で。パウロ自身、迫害については多少のことを知っていました。そして、ここで彼は、いつも喜ぶことを彼らに勧めています。苦難にもかかわらず、迫害にもかかわらず、試練にもかかわらず、困難、痛みと苦しみにもかかわらず。そこで、問題は、「どうやって？」 何があったとしてもいつも喜ぶのはどうすれば可能なのでしょうか？ 私たちの周りで何が起こっていても、常に喜び、絶え間なく喜ぶことは？ さらに悪い事に、それが私たちの身に起こっても？ そして、その答えには、私たちはヤコブ1章を見さえすればよいのです。2節から3節を読ませてください。聖霊によってヤコブはこう書いています。

「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」 (ヤコブ1:2)

本当に？ 私はそれを「この上もない喜び」と考えるのですか！？ 私が、試練や迫害、苦難、困難を経験するときに？ 「はい！」 どうやって、私はそれをこの上ない喜びと考えるのか、どうぞお話し下さい。「ああ、聞いてくれてありがとう！」 皆さん、聞きましたね？ なぜなら、ヤコブは私たちのためにそれに答えてくれるからです。その方法は次の通りだと、彼は言っています。「あなたがたが知っているとおりの...」私はこのことばに下線を引きました。皆さんも同じく聖書に下線を引かれるとよいかもしれません。なぜなら、これが鍵だからです。「あなたがたが望んでいるとおりの、思っている通り、願っているとおりの、信じているとおりの、」ではありません。違います。「あなたがたが知っているとおりの...」！

「あなたがたが知っているとおりの、信仰が試されると、忍耐が生じます。」 (ヤコブ1:3)

そして、4節はとても面白いです。なぜなら、ヤコブは「忍耐を働かせなさい」と言っているからです。興味深いです。他にもっと良い言葉がないのですが...そこにほのめかされているのは... 私たちが忍耐を完全に働かせていないということです。私たちはそれと戦うのです。「働かせる」代わりに。「忍耐を働かせる」あなたがその試練にいるとき、あなたがその苦難を経験しているときに、
「その忍耐を（苦難の中で生み出されている忍耐）を完全に働かせなさい。」

「そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」 (ヤコブ1:4)

私は個人的な、私自身の経験から皆さんと共有したいと思います。困難の中で、喜びを体験することを。私が気づかなくてはならず、神が私に教えてくださったことの一つはこれでした。それは、喜びは幸せとは全然違うということです。幸せは、あなたの人生の物事が上手く行っているかに基づいています。

ちなみに「幸せ/happy」という言葉は「偶然/happenstance」から来ています。こういう事です。物事がうまくいっているときにだけ嬉しいのならば... まあ、皆さんが私のおよそ毎日2分間くらいしか嬉しくありません。良い日に、それくらいだとしたら？ なぜなら、もし幸せが人生の中で物事がうまくいっていることに基づいているなら、そしたら、私はあまり幸せではありません。

喜びは幸せとは大きく異なります。喜びは内側です。幸せは外側です。幸せは外向き、喜びは内向きです。主と共に歩む中で、私が学んでいる事の一つは、主の喜びは、主において何が起ころうとも、体験できるものだという事です。そして、それは主において、なのです。そして、その喜びは、イエス・キリストを信じ、イエスに従う私たちだけが、体験できるのです。そして、それは17節にあるこの2つ目のものへと結びついています。それは、絶えず祈る、ということです。質問です。聞いてください。もし私が、この17節についてこう言ったら？ それはあなたの祈りの生活を根本的に変えることができるものだと。皆さん、その方法を知りたいですか？ さて、お答えしますよ。まさか「いやだ」と？

「いいえ、私は本当はその方法を知りたくありません。」その方法を知りたくない人は私たちの中に一人もいないと思います。どうすれば、祈りの生活をもっとよくすることが出来るのか。そうですね？

その「方法」に対する答えは、絶えず祈るためには、祈りは複雑な活動から、単純な態度に変わらなければなりません。もう一度同じことを言わせてください。私たちは複雑な祈りをしませんが？ なんていうことでしょうか。私にもこんな時がありました。そんなに昔のことではありません。私は、「祈りの人になりたい」と神に祈りました。だから、私は出かけて行って、祈りについてありとあらゆる本を買いました。...それは悪いことではありません。その中の一冊は、E.M.バウンズの本で、本当に、膨大な本でした。それは、ただただとても分厚いのです。私は頭の中で、「なんてことだ...」「私はこの祈りの本を読まなくては！」より良い祈りの生活を持つことが出来るように。なぜなら、私はより良い祈りの生活をしたいからです。すると、聖霊が、主だけが出来るように、あのかすかな細い声でこう言ったのです。

「何してるの？」 「私は祈りに関するこの本を読むんです！」 聖霊はこう言ったようでした。

「あなたは祈りに関するこの本を読む代わりに、」「ただ祈ることが出来るんですよ。」この祈りに関する本を読むのにかかる時間は... 繰り返しますが、それは悪いことではありません。しかし、この祈りの本を読むのにかかる時間に、おや、まあ。あなたはただ祈ったらいいのです。ところで、祈ることがどれほど簡単か知っていますか？ あなたは祈りが何であるかを知っていますか？ それは神に話すことです。何年も前に、本土で

聞いた話を思い出します。ある夫婦がいて、妻が夫のところに来てこう言うのです。「ハニー、」「私たちは祈らなくちゃいけないわ。」夫が言ったのは、「そんなに悪い状況なのかい？」

祈りが最初の反応である代わりに最後の手段であるかのように。さて、この場合の妻は、よくあることですが、祈りに関して言えば、霊的指導者になっています。そして男性方、私たちは恥を知らなければなりません。それは決してあってはならないことです。私たちの妻が私たちの元にきて、決してこう言うべきではありません。「ねえ、ハニー、私たちは祈る必要があるわ。」いいえ、それは逆であるべきです。

夫が妻に、霊的指導者として「祈る必要がある」と言う必要がありますそして、妻は「私から始める」と言います。そして、彼女はこの祈りを始めます。「全能の神、天と地の創造主...!」「そして海とそこにある全てのものが、...」残響、欽定訳、とにかく、全てです。そして、どんどん続きます。それは雄弁で、ただただ素晴らしかったのです。そして、彼女は祈り終わりました。彼女の夫は、「ああ、なんということか。今度は私の番か...」みたいな感じです。彼はこのように祈ります。「ああ、神様。私は彼女が今何を言ったのか分かりませんが、...」彼はただ神に話しかけたのです。ただ、神に話しかけるのです。

これがセンスの無いたとえだとは分かっていますが...しかし、私には「ダサイ」ことに贈物があります。私たちの携帯電話がありますね？ 私たちはこうしてスマホを持ちますね。もちろん今は、エアポッズなどがありますが。しかし、イヤホンとマイク、それが祈りです。マイクは私たちが神へ話しかけることで、イヤホンは神が私たちに話しかけています。神の御言葉を通して。祈りは、必ずしもモノローグ（独白）ではなく、むしろ、ダイアログ（対話）である、とされています。本当に私を助け、私の祈りの人生を根本的に変えたものは、こう気づいたことでした。それは、私が祈りをとても複雑にしていたので、それを活動にしまい、そうすることで、それが仕事になっていたのです。それは「やらせてもらえること」ではなく、「しなければならないこと」でした。そして、私が「ちょっと待って、やめろ!」と気づくまでは。それは活動ではありません。それは態度です。祈りの姿勢。言葉遊びを許していただきたいのですが、イエスが教えられたのは「Beatitude（八福の教え）」であり、「Doatitude」ではありませんでした。私はそれが言葉遊びであることは分かっていますが、Be-atitude、です。言い換えれば、それは祈る姿勢です。「姿勢/態度/attitude」を定義させてください。私は実際にネットで調べました。

なぜなら、私が態度という言葉を使うとき、皆さんの心に何が浮かびますか？ 私は自分の心に何が思い浮かんだか分かっています。「彼らは態度がでかい。」しかし、それは私がここで話している態度ではありません。いいですか？ 態度は、「定着した考え方」として定義することができます。誰かや何かに関しての、定着した考え方や感じ方。通常、人の振る舞い(behavior)に反映されるもの。「do-havior」ではなく「behavior」それは定着した考え方です。さて、あなたが祈りというものを活動の領域から取り出して、それを態度の領域、傘下に置くことができるなら、それはすべてを変えます。だから、今や、私はいつも祈ることができるのです。私がコストコに行って駐車場の空きが必要な時みたいに。私はずっと離れたエワビーチに駐車したくありません。誰かに教えてもらったことで、私はそれが真実だと思うのですが、この島にあるコストコ・イウィレイ店は、世界で最も忙しいコストコです。皆さんも同じことを聞いたことがありますか?はい。すごいでしょ。脱線してしまいました。説教の続きに戻しましょう。今では、私は運転中に、車の中で目を開いたまま、継続的に祈っています。忍耐、愛、優しさ寛容を求めて。高速道路H1で。5時に。クリスマス用に、私たちはキッチンに飾る木製の額を持っています。すごくいいんですよ。こう書いてあります。「私は午後5時に西向きH1に乗ろう。-君のために」さて、オンライン教会の方は、「どうということ?」と知っているでしょう。私はいつも主と話すことができます。ある時、私は私の家のオフィスにいました。私はそれが運動感覚的なものなのかどうか分かりませんが... 私の言っていることが正しいことを願いますが、いつも動いたり話したりしてはいけないというやつです。だから、主との私の最高の祈りの時間は、私がただ歩きながら、話し、語っている時です。「ねえ、主よ。」「そうそう、そうです、主よ。」「ああ、主よありがとう。私に思い出させてくださってありがとうございます。」「おお、それはとても良いです、主よ。」「ああ、私はあなたをとても愛しています。」そして、私は声に出して話しています。その時、私の娘が現れてこう言うのです。「自分に話しているの?」「違う」と言いました。ところで、公共の場ではそうしないで下さいね。あなたはどこかへ連れて行かれますから。私はい

つも彼と話すことができますし、声に出して言う必要もありません。...神は私の心を読むことができます。私がある状況に巻き込まれていたことがあって、それはある種、激しい状況でした。私は、「ああ、なんということか！私は何をすべきですか？」そして私はこう言います。「主よ、私はあなたが今、私の心を読むことができると知っています。」「私は本当に助けが必要です。私はあなたの知恵が必要です。」「私は何を言うべきか、何をすべきかを知る必要があります。」

つまり、私はいつも主と話しています。それが、絶えず祈ることです。それはある人がこう言ったように、「あなたは神と絶えず意識的な交わりをしている。」交わり（コミュニオン）、コミュニケーション。「あなたがいつも主と話していて、」「そして、主が常にあなたに話しかけている。」これが、絶えず祈ることなのです。これをどうやって言えば良いでしょうか...？ 皆さんの気に障ることを言いたくはありません。そう言ったことが、たぶんもう皆さんの気に障ったでしょう。私は皆さんに挑戦したい。私は皆さんに挑戦したい。あなたの祈りの生活に別の方法でアプローチしてください。今日から始めましょう。「祈らないといけない！」という様に思わないで下さい。「祈らないといけない！」まあ、それは本当です。あなたは祈らなければなりません。しかし、私が心から信じているのは、神は、私たちが「祈るのを待ちきれない」という域に到達することを望んでおられることです。しばらく前のある夜に、私はとても疲れていたのを覚えています。私はただただ疲れていました。私は眠りに落ちようとしていると分かっている、私はこう言いました。「主よ、明日まで待ちきれません。」「...私は今とても疲れていて、」

「またあなたと話ができる明日の朝まで待ちきれません。」わお...私が若いクリスチャンだったとき、これを知っていたら良かったのに。いつも、私が本当に良い決断をしたと分かるのは、私の唯一の後悔が、もっと早くすればよかった、というものである時です。ところで、それは意図的なものです。

この私たちが祈りと呼ぶもの、この神と話すことは...それが祈りなのですが、それは意図的でなければなりません。私が皆さんに挑戦したい課題は、あなたの祈りの生活を、祈りの活動ではなく、祈りの態度として見ることです。そして、何が起るかを見て下さい。私はあなたに約束します。はっきりと約束します。それはあなたの人生を変えるでしょう。あなたは決して振り返りたくなくなるでしょう。

今朝、私は祈りの集まりに参加しました。第一礼拝の前に祈り会があります。私は頭で考えていました。

「わお、主よ、私たちは本当に良い関係にありますよね？」私が誰かと話していたか、誰かについて話していたと思うでしょうか？ 違います。私は主について話しています。私たちは素晴らしい関係を持っています。素晴らしい関係の特徴は何ですか？ 良いコミュニケーションがあること。主よ。私たちはとっても素晴らしい関係にあります。なぜなら、私たちは常にコミュニケーションを取っているから。私はいつも彼に話をしています。私はそれができない自分の人生を想像することはできませんつまり、正直になりましょう。人生にはある特別な状況が起こることがあって、と言うのも、皆さんはどうするつもりですか？ すごく良かったと思いませんか？ こんな風に言いましょ。ノンクリスチャンはどうするでしょうか？ ああ、彼らが何をするか教えてあげましょ。彼らが何をするかというと、彼らは瓶へと向かいます。薬の瓶、またはアルコールの瓶へと。彼らは何かに、または誰かのもとへ行くでしょう。つまり、私たちに主がいなかったら、私たちは一体どうするのでしょうか？ 使徒パウロはここでテサロニケ人へ書いたことをローマ12章で繰り返しています。ところで、すばらしい章です。実際、ローマ書全体が素晴らしいのですが。私たちが何年も前にローマ書に取り組んでいた時、私たちは約2年半くらい、ローマ書をやっていたと思います。そして、私たちは生き残りました。[ローマ12章12節](#)、覚えやすい節です。パウロの言うことを聞いてください。

「望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。」

言うなれば、「ビック3」です。これは、18節にある3番目のものに私たちを導きます。それは、いつも感謝することです。この上なく喜び、絶えず祈り、いつも感謝すること、これらはセットです。

私がこのように言うことが出来るなら、それは3本の柱からなる命題です。さて、パウロがここで言っていないことに気づくことが重要です。彼はすべての状況に感謝しなさいとは言っていません。彼はこう言っています。

「すべての状況において感謝しなさい。」さて、なぜそれが重要なのですか？ なぜなら、私たちはすべてのことに対して神に感謝するわけではありません。「神様、この折れた腕を感謝します。」「このパンクしたタイヤを感謝します。」いいえ。私たちは、すべてのことにおいて、神がすべての事を共に働かせて、益として下さ

ることに感謝するのです。それが私たちが神に感謝するものです。

「ああ、神様、本当に感謝します。」 「主よ、本当にありがとう。」 福音書の中で何が興味深いかを知っていますか。イエスは、誰かが感謝していることに注目されました。彼がツアラアトにかかった10人を癒すときの箇所を覚えていますか？ ハンセン病、それは死の宣告でした。つまり...皆さん...私はコロナウイルスと言おうと思いましたが、預言アップデートで、それについてお話します。...誰もあなたの周りに近づきません。そして、イエスは彼らに近づくだけでなく、彼らを癒すのです。そして、唯一1人だけ、それもユダヤ人でもなかった人が、たった一人だけが戻って来て、「主よ、感謝します。」そして、イエスはそれを指摘します。それは明らかに、主にとって、とても重要だったので、それは聖書の聖典に含まれました。私たち全員のために記録されるために。後の世代のすべての人のために。

「他の9人はどこにいますか？」 (ルカ17:17)

主はそれを指摘します。主はそこに目を留めます。私がこのような言葉で表現できるか見てみましょう。

皆さん、親や祖父母としてはどうですか？ あなたの子どもがあなたに感謝しているとき、それはあなたの心を祝福しませんか？ なんとということでしょう。それは.. あなたはただ...私はカリフォルニアの大学にいる息子のレヴィに話しました。彼はとてもクールな子で、彼は本当に感謝の心がある子です。

そして、彼はいつも私に感謝しています。「ありがとう、パパ。ありがとう、パパ」そして、私は「レヴィ、もう耐えられない！」 「私の王国の半分まで！あなたが望むものは何でもあげる！」もしかしたら、それが理由で彼はそう言うのかもしれませんが。分かりませんが。一違いますよ。しかし、彼はとても感謝しています。彼はとても感謝しているのです。なので...もう少し我慢してください。今朝私は起きて、心の準備をして、この教えを準備しました。私はこう言いました。「主よ、」「どうすれば...」なぜなら、大きな疑問は「どうすれば」ですよね？ つまり、私たちは広範では知っています。聖霊の「やり方」が、私たちが聖なる言葉が示す「こと」を行うことを可能にし、力を与えてくれるのだ、と。そうですね？それに同意できますね。しかし、私は具体的に知りたいのです。どうすればもっと感謝できるのか？どうすればもっと感謝の心を持てるのか？どうすればもっと喜び溢れるのか？どうすればもっと祈ることができるのか？どうすれば?? つまり、私はそれをしたいです。...この礼拝にいる誰かがこう言うのを想像できません。

「私はもっと祈るようになりたくない。」 「私はもっと喜び溢れたくない。」 「私はもっと感謝したくない。」

そんな人いますか？ もしそうなら、後であなたと話してもいいですか？ だから、「どうやって？」

私たちはどのようにしてこの感謝の態度を持つことができるでしょうか？ どうすれば...

「...私には変化が必要です。私はマンネリ状態です。」 「...私は形だけやっているだけです。」 「私には喜びがありません。」 「私はそれが実現するまで、ふりをしようとしている。でもそれは上手く行きません。」それが喜びというもので、喜びを偽ることはできません。つまり、その喜びが本物であるかどうか、あなたには分かっています。「...私は牧師が話している祈りの人生を送りたい。」 「私はそれをしたい。」 「もっと感謝したい。」 「もっと喜び溢れたい。」 どうすれば？ どうやって?? さて、感謝することは、喜びと祈りの両方から生まれます。チャールズ・スポルジョンが言ったことを聞いてください。これは本当に良いです。彼はこう言いました。

「喜びと祈りが結婚するとき、彼らの最初の子どもは感謝の心だ。」

もう一度読んでもいいですか？ ダメだと言うつもりですか？ もう一度読みます。

「喜びと祈りが結婚したとき、彼らの最初の子どもは感謝の心だ。」

これはパウロがピリピ人に書いたことです。それは私の一番のお気に入りの人生聖句の一つです。私は聖書のすべての箇所についてこう言っているのは分かっています。しかし、実際にピリピ4章6節から8節は、しかし、6節と7節では、基本的に「これがあなたの人生を変える方法だ」と言っています。

これはあなたの人生のすべての不安の治療法です。すべての恐怖、心配のすべての。これはあなたの人生を変えることができます。彼の言うことを聞いてください。

「何も思い煩わないで、」

「あらゆる場合に感謝をもって捧げる祈りと願いによって、」

ああ、ここでパターンが分かりますか？

「あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」（ピリピ4：6）

「そうすれば、すべての理解を越えた神の平安が、」

「あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」（ピリピ4：7）

こういう言い回しがありますよね。私にはただ心の平安が必要です。心の平安。これは、イエスが言った種類の平安です。

「わたしが与えるのは、世が与えるものではない。」（ヨハネ14：27）

この平安は、状況や状態に依存していません。理解できた今、心の平安が欲しいですか？

「今、私は理解したから、私は心の平安を持つことができる！」いえいえ、違います。パウロがここで言っていることは、あなたが理解しなくても平安を持つことができるということです。

「自分の悟りに頼るな」箴言3章5節から6節。

「どうやって？」ああ、あなたが尋ねてくれてとてもうれしいです。すべてのことについて祈り、あなたが考えるあらゆることを神に感謝することによって。ああ、ところで、試してみてください。ただ神に感謝し... 私は祈りの日記を付けています。実際、先週ちょうど... 私は手で書くよりもはるかにタイプする方が得意です。私はタイピングの授業を取りました。若い人たちには見当がつかないことは分かっています。それは実際、公平ではありません。私はあなたたちが、親指で機械みたいにメッセージを打つのが見えます... 私はこんな感じでした。娘は私に「指を使わないで」と言い続けています。私はタイピングしたいんです。私はタイピングの授業を取ったから、実際にタイプできるんです。私の問題は十分です。要点に戻りましょう。そして、私には要点があります。なので、私はタイピングして、私の祈りのリストに入力していました。そして、私は考えつくすべてのことをただ神に感謝し始めました。

そして気がついたら、私は2ページほど進んでいたのです。それからまだまだありました。そして、「これをありがとう」「ああ、あのことに感謝します。」「このことに感謝します。あのことに感謝します。」私が終わった頃には、なんということでしょう。と言うのも、私は非常に幸せな気分でした。

ネヘミヤ8:10が言っている、「**主を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。**」

私はとても力づけられ、励まされました。非常に喜びに満ち溢れ、非常に感謝で溢れていた。とても感謝で溢れ、喜びで溢れる。そしてそれは、祈り続けることによって来ました。これらすべてがどのように共に作用するか見えますか？ さて、明日の朝には、どうでしょうか？ 目覚まし時計が鳴って、私が起きなければならないとき。これはどのように機能するのでしょうか？ これは私の人生ではどのように見えるのでしょうか？ 月曜日が始まります。それはあなたが頭の中でこう考える一日で、

「ああ、寝るところからやり直せたらいいのに...」「今日はひどい一日だ。」そうなる必要はありません。

「朝早く、私は立ち上がって、あなたを求めます。」主と一緒に時間を過ごしてください。1時間である必要はありません。人々は、「私には時間がない！」と言います。「祈る時間がない！」あなたには祈らずにすむ時間はあります。繰り返しますが、どうかそれを複雑にしないでください。「祈りに30分は費やさないといけない！」などと言ってはいけません。そんなことしないで下さい！想像できますか？

あなたの子どもがあなたの元に来て、こう言うのが。「ああ、私はあなたと30分過ごさないといけない！」

どうぞお構いなく。やらなきゃいけない？ いいえ、私はそうしたいのです。私は待ちきれません。「主よ、私は一日をあなたと一緒に始めたい。」そしてあなたがそうする時、あなたは一日の真っ只中で、激しい戦いの中にいて、つまり、壁にぶち当たります。そうですね？ そしてあなたは「分かりました、主よ...」と始めます。「まず第一に、私はあなたの元にこのことを持って行きます。」「それは私が対処できる範囲を超えている状況です。」「だから、私はただあなたにそれを委ねます。」「そして、主よ、私がそうすることに感謝します。」「そこから始めましょう。」「私はあなたにこの状況を委ねることができることに感謝します。」「主よ、ここで私を助けてください。」「私には助けが必要です。」「それとも、これを解決していただけますか？」「これに対する知恵と理解を私に与えて下さい。」主はそうするでしょう。主はそうします。そして、あなたは気づ

いたら、この平安があるはずです。つまり、すべてが混沌とした、激動、争いと逆境... しかし、この平安、この喜びとこの穏やかさがあるのですこれは神の手中にあります。私は主にそれを渡し、それを取り戻すことはしませんでした。私はよくそうしていました。

主にそれを渡し、そして、それを取り戻し、それについて心配し始めます？いいえ、私は主にそれを任せます。「それはあなたのものです。」「主よ、あなたがこれに対処してください。」「そろそろあなたがわたしに求めるべき時だ。」「わたしは、あなたがわたしにそれを任せることを待っていた。そうすればわたしが対処できるから。」私たちは「神は不可能を可能にする」と言います。時々、私は神がそれを不可能にさせなくてはいけないのではないかと思います。主がそれを行うことができるように。なぜなら、それがまだ私たちにとって可能なのであれば？ ...神はこの状況の中に、無理に入っては来ません。

だから私たちはやろうとして...「よし、私は自力でやり遂げる！そして、終わらせるんだ。」やり遂げる...そうどうすね？ ...私は神がただこう言っているのが思い浮かびます。「OK、分かった。(必要な時は)知らせてくれ。」「わたしはここにいるから。」「あなたが『自分の意志の壁』に125回目にぶち当たるときに。」「なぜなら、あなたはとても頭が固いから。」私は自分自身に語っています。

「あなたがたは自分が何者であるか分かっています。あなたは頭が固く、うなじのこわい、頑固な人々。」そうすね？「だから、わたしに知らせなさい。」「なぜなら、あなたが降参して、手を上げてこう言う時...」『神よ、これは不可能です！』「おお、良し。」「それはあなたにとっては不可能だが、」「今、わたしにとっては可能だ。」「わたしがこれをやっても良いか？」

—「分かりました、どうぞ！」「まあ、あなたはそれをかなり混乱させたね。」「もっと早く持ってきてくれたら良かったのに。」

祈りしましょう。天のお父様、感謝します。あなたの喜びに感謝します。あなたの平安をありがとうございます。私たちへのあなたの恵み、あなたの憐み、あなたの愛、あなたの優しさに感謝し、あなたの思いやり、あなたの寛容、あなたの忍耐に感謝します。主よ。私たちには、あなたに感謝できることがたくさんあります。主よ、あなたにただ感謝することで私たちの生活をすべて、完全に、全く変えることができることに感謝します。そして、私は説教の終わりにこの事を祈ります。聖霊が祈りを次のレベルに引き上げて下さるように。主よ、聖霊がそうして下さることに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージbyJDFarag牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

CalvaryChapelKaneohe47-525KamehamehaHwy.Kaneohe,Hawaii筆記hukuinn7